

「境川かわまちづくり」の活動を広げ、テーマごとに境川や周辺エリアの活動を深く議論し、実行していくため、境川で活動する団体や市民の皆さんにより「境川かわまちを進める会」を開催しています。

第1回境川かわまちを進める会（合同開催）

令和5年1月15日（日） 14:00～16:00

境川かわまちづくりについての説明を行い、テーマ毎に境川で行いたいことなどについて、メンバー間でディスカッションを行いました。

当日のプログラム

- 1.事務局説明
 - ①境川修景整備等の経緯と「かわまちづくり」の必要性
 - ②「かわまちづくり」とは
 - ③境川かわまちづくりの検討経緯
 - ④境川かわまちづくりの推進体制
- 2.質疑・応答
- 3.テーマ毎のディスカッション



テーマ：水・自然環境



テーマ：歴史・文化

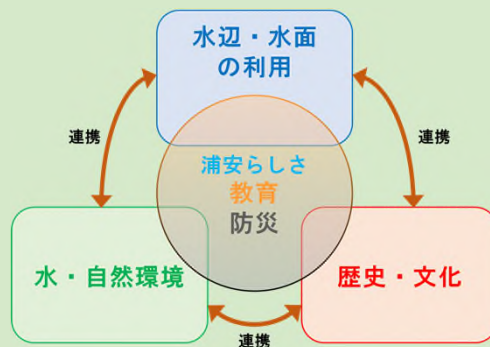


テーマ：水辺・水面の利用

境川かわまちを進める会のテーマについて

境川かわまちを進める会のテーマは、境川かわまちづくり懇談会で「水・自然環境」「歴史・文化」「水辺・水面の利用」の3つを基本テーマとしました。

「教育」「防災」「浦安らしさ」のキーワードについては、全てのテーマに関わる留意すべき事項としました。



— ディスカッションでの主な意見（境川で行いたいことなど） —

水・自然環境

- 「川をきれいにする」ことをテーマにディスカッションをした。
- 水質を改善するため、水門の開閉回数を増やしたり、ポンプ排水を行うなどして水の流れをつくる。水門の開閉はA Iを使って自動化したらどうか。
- 雑排水の流れ込みがあるので、下水の問題をクリアする。
- 浄化槽を整備し、流れ込む水の水質改善が急務と思われる。
- 団体同士で連携して境川のクリーンアップなどを通じて、生物が戻ってくるような環境にする。
- こどもたちに生物を見せたり、生物多様性などの教育材料となるように境川を変えていく。

歴史・文化

- まち案内、案内板、写真展などで、歴史と文化を伝える。
- ストリートパフォーマンス、ミュージシャン、市(いち)等のイベントを行う。
- こいのぼりの飾りつけは、現在行っている中町地域以外でも行う。
- 船から景色を見ながら境川を案内をする。
- 「歴史・文化」を感じさせる歩きやすく歩いて楽しい道をつくる。
- 川沿いの景観のルールづくりをする。
- 草花を植えて管理していく。
- 護岸高を低くする。こども目線の護岸も大事。

水辺・水面の利用

- Aゾーン（西水門～新橋）の地盤が低く、水害のリスクがある。
- 水面を活用するためには、水のきれいさと、水位を考慮した防災対策が前提となる。
- 川沿いに千本桜を植えられ、イベントもたくさん行われている江戸川区の新川のような賑わいがAゾーン（西水門～新橋）にできたらよい。
- 川と海が繋がっていることが、境川の特徴である。川と海をつなげるという意味で、高洲の船溜まり（境川河口部）も境川の活用につなげていきたい。
- 多くの人が集まれるように施設等を整備するときは必ず駐車場も整備していく。



浦安市 都市整備部 道路整備課 河川海岸係

TEL : 047-712-6577 FAX : 047-352-7996

E-mail : doroseibi@city.urayasu.lg.jp

事務局説明の動画のほか、境川かわまちづくりに関する取り組みの詳細は、市公式HPに掲載しています。



市公式HP
(境川かわまちづくり)